

第○学年 学級活動学習指導案

令和元年○月○日○校時
 ○年 ○組 ○名
 指導者 ○○○ ○○○

【年間指導計画の位置付け ○学年 ○月計画 P. ○】

1 題材 「気持ちのよいあいさつ」 (小学校の例)
 内容(2)ア 基本的な生活習慣の形成

2 題材について

(1)児童(生徒)の実態

- 題材に関する児童生徒や学級の実態を記述する。…「何が身につけていて何が身につけていないのか」「題材に係る事前の意識調査・アンケート・Q U・アセス等の概要」など
- 必要に応じて、各教科との関連を図った計画的な指導や、学年段階及び発達の段階に即した系統的な指導に関わる配慮事項についても記述する。

(2)題材設定の理由

- 児童(生徒)が自己の課題として真剣にとらえ、目標や方法などを意思決定できるように、児童観(生徒観)から、この題材をどう指導していくかを記述する。
- 教師の構想(本時で目指す児童生徒や学級の変容等の概略・展開方針)・活動形態・指導内容の重点・道徳との関連などを記述する。

(3)校内研修テーマとの関わり (2年研, 中堅研等については個人のテーマとの関わりを記述する)

- テーマへ本時の授業を通してどのように迫っていくのかを記述する

3 学級活動(2)の評価規準 (例)

※1時間ごとに評価規準を作成するのではなく、学校で(小学校は低中高で作成)定めた評価規準を記述する。

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。

4 事前の指導と児童(生徒)の活動

日時	児童(生徒)の活動	指導上の留意点(○)と評価(☆)	資料
○月○日(△) 帰りの会	・あいさつアンケートを記入する。	○日頃、自分がだれにどんなあいさつをしているか思い出させて、どんなあいさつをされたときうれしかったか意識させる。	アンケート
○月○日(△) 放課後	・アンケート結果をグラフにまとめる。	○アンケートを集計し、まとめることで興味・関心を高めるようにする。	

○アンケート調査を行うなどして、題材に対する学級の実態を捉えるとともに、題材に対する一人一人の問題意識を高める。

5 本時の指導と児童生徒の活動

(1) 本時のねらい

- 日常生活を振り返り、あいさつの大切さや素晴らしさに気づき、自ら進んで大きな声であいさつしようとしたり、心をこめてあいさつしたりしようとすることができる。

(2) 本時の展開 (記入例)

過程	児童(生徒)の活動	指導上の留意点(○) 評価(☆)	資料 〈生徒指導の3つポイント〉
導入 ○ 分 つ か む	<p>1 今までのあいさつの仕方について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から気付いたことを発表する。 ・先生にはあいさつするけど、友達にはあいさつしていない。 ・地域の人にもあいさつができるといいな。 	<p>○事前のアンケートの結果を知らせ、あいさつについての意識を高める。</p> <p>○アンケートの結果や、普段の自分たちがあいさつしている様子を撮影した映像を見ることにより、今のあいさつの仕方について振り返ることができるようにする。</p>	<p>アンケート結果</p> <div data-bbox="1177 488 1487 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈生徒指導の3つのポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己存在感 ○共感的人間関係 ○自己決定の場 </div> <p>自分たちのあいさつの映像</p>
展開 ○ 分 さ ぐ る ・ 見 つ け る	<p>2 6年生のあいさつの映像を見て、あいさつについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝何人とあいさつできたかを数えたらたくさんの人に言えるかな。 ・大きな声であいさつしたら気持ちいいかな。 ・はずかしいけど、一度言ってみたら慣れてくるかも ・僕も自分からあいさつをしよう ・顔をしっかりと見て言われるとうれしくなるよ <p>3 グループで考えたことを発表する。</p>	<p>○自分たちのあいさつと比べて、どんな点が違うのか、どうしたら6年生のようにあいさつできるのか考えられるようにする。</p> <p>○なるべくたくさんの方法について考えて発表し、一人一人がめあてを立てるときにそれぞれを比べながら、選んだり、参考にしたりすることができるようにする。</p> <p>☆どうしたらもっとみんながにこにこするような気持ちのよいあいさつができるか考えている。 (思考・判断・表現) 【観察・発言】</p> <p>○考えた方法を実際にグループの友達と試してみる。</p> <p>○あいさつされてどう感じたかを発表し合ったり、みんなと一緒にやってみたりする。</p>	<p>6年生のあいさつの映像</p> <p>〈共感的人間関係〉</p>
終末 ○ 分 決 め る	<p>4 本時を振り返り、自分の今後のめあてをもつ。</p>	<p>○本時を振り返り、これから自分がどんなときにどのようにあいさつするかについて、具体的なめあてや実践方法を決めて、がんばりカードに記入する。</p> <p>☆気持ちのよいあいさつについて考え、自分のめあてを決めている。 (思考・判断・表現) 【めあてカード・発言】</p>	<p>〈自己決定〉</p>

※課題の現状、事実などが学級の一人一人に共通する課題であることが理解できるようにする。
 ※アンケートや調査結果等を活用し、課題について改善の必要性を実感させ、自分自身の問題と捉えさせる。
 ※児童生徒の話合いや情報交換の場を設定し、友達の意見や教師の助言を参考にしながら、解決方法を考えさせるようにする。
 ※自分自身の課題を確認できるようにし、何をどのように努力したらよいかを考えて、より具体的な意思決定できるようにする。
 ◆教師の手立てを具体的に記述する
 どのような資料掲示をするのか 事前アンケートの内容
 様々な解決方法を出させるための手立て
 学習形態 視聴覚機器利用 等
 ※目指す児童生徒の姿と評価方法
 「学級活動(2)の評価規準」を踏まえ、本時の展開における「目指す児童生徒の姿」を具体的に記述する。
 ※どのような方法で見とるかを記述する。
 <観察><学級活動ノート><振り返りカード>

(4) 板書計画

「思考の可視化・操作化・構造化」の視点で、板書計画を行う。
 「みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）」 P74～75
 「学級・学校文化を創る特別活動（中学校編）」
 ※別紙で大きく示してもよい

6 事後の指導

日 時	児童（生徒）の活動	指導上の留意点と評価	資 料
○月○日(△) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定したことを実践する。 自分の立てためあてや取組について振り返る。 友達同士で取組を確認し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会などを利用して取組を確認し合う場を設け、あいさつで頑張っていることを確認し、称賛したり励ましたりする。 個別に新たな方法を加えて努力できるようにする。 	がんばりカード（1週間程度）

○題材の内容によって、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、司書教諭、外部講師などの協力を得て指導するようにする。

参考資料

- 小学校(中学校)学習指導要領解説 特別活動編
- 言語活動の充実に関する指導事例集 文部科学省（小学校 H22.12, 中学校 H23.5）
- みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）
平成30年12月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
- 学級・学校文化を創る特別活動（中学校編）
平成26年6月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
- 小学校(中学校)キャリア教育の手引き 文部科学省 平成23年5月
- 「問い」が生まれる授業サポートガイド 2019年度版 沖縄県教育委員会